

# 九州伝承遺産ネットワーク

代表者

坂本 道徳

所在地

〒850-0931 長崎県長崎市南山手町12-40

設立年月日

2006年

URL

<http://www.kyusyu-densyouisan.net/>

## 【設立趣旨】

「九州伝承遺産ネットワーク」は、九州各地にある先人の知恵や技術を継承した文化的な遺産、つまり「伝承遺産」群を次世代に語り継ぎ、豊かな未来を構築することを目的として設立されました。九州地域には「伝承遺産」をまちづくりや教育などに活用している市民団体が複数あります。それらが連携して相互支援をすることにより、市民団体の発展と活性化、および九州の「伝承遺産」を次世代に語り継ぐことを目指しています。

## 【沿革】

2005(平成17)年頃までに、九州各地で産業遺産を保存・活用するNPOが相次いで設立されました。これらのNPOは各NPOの活動を通じて交流を持つようになり、情報や知識の共有化や親交が進んでいきました。また、九州・山口近代化産業遺産の世界遺産登録への機運が高まり、各種シンポジウムの開催が相次いでいきました。

2005年、これらのNPOが集まって開催した「九州伝承遺産シンポジウム」においてネットワーク構想が固まり、2006(平成18)年2月「九州伝承遺産ネットワーク」が設立されました。

各種シンポジウムやミニウォークなどの体験型イベントの開催を通じて、伝承遺産の重要性を地域へ訴求しています。また、会員NPOのシンポジウムの相互参加もさらに活性化し、相互の活動紹介を行い、団体相互のノウハウの共有化も図っています。現在では、外部開催のシンポジウムでの講演も積極的に実施し、九州伝承遺産の理解増進を図りながら、活動の幅を広げています。



(九州伝承遺産ネットワーク 提供)

## 【活動目的】

九州地域の「伝承遺産」をまちづくりや教育などに活用している市民団体が連携・相互支援することにより、市民団体の発展と活性化を図ることを目指しています。更に、九州の「伝承遺産」を次世代に語り継ぐことも目的として活動しています。つまり、各団体の連携・連帯を中心に、人と情報の相互交流によって、九州全体での「伝承」を図るためのネットワークであるといえます。

同ネットワークでは、「伝承遺産」を、先人の知恵や技術を継承した文化的な遺産であり、後生に語り継ぎ、伝承すべき有形・無形の文化的遺産と定義しています。別の言い方では「地元が自慢できる身近な宝物」としており、これらを「知って」もらい、「見て」もらい、「つないでゆく」ことが活動方針となっています。

## 【活動内容】

### ●「遊学マップ(大牟田・荒尾編)」

(財)九州地域産業活性化センター「遊学アイランド九州」報告書調査とその座談会から、具体的な連携の第一弾として「遊学マップ(大牟田・荒尾編)」を共同で制作しました。これは同ネットワークの活動の第一歩であり、設立後の活動を勢いづけるものとなりました。

### ●各種シンポジウムの開催

同ネットワークはシンポジウムを中心に活動しています。シンポジウムはネットワーク主催による加盟団体同士の交流目的のもの、加盟団体主催のシンポジウムに地域的な広がりを持たせるためのもの、域外各種シンポジウムを通じて九州伝承遺産の普及啓発を担うものと、多岐に渡っています。

これらのシンポジウムにより、加盟団体同士の交流は活発化され、九州地域での連携という同ネットワークの目的に大きく寄与しています。

### ●ワークショップ&ウォークイベント

シンポジウムの座学と、伝承遺産の見学ツアーなどの体験を同時に開催する活動を行っています。同ネットワークの活動実践のコンセプトである、「知る・調べる・さるく(歩く)」や「考える、まとめる、可視化する」、「つなぐ、ひろげる」に沿ったものとなっており、効果的に九州の伝承遺産を周知させています。

同ネットワークの活動は、観光、教育、まちづくりに活用することを目的としており、今後はこれらの方向性にも沿いながら、対象を修学旅行生や観光客に広げながら、九州の伝承遺産の周知を目指したいと考えています。



(九州伝承遺産ネットワーク 提供)

## 【活動上の課題と今後の展望】

まず、保存・活動・連携における事業的な課題が挙げられます。どのように資金や人材を確保し、どのようにそれらをマネジメントするかが今後更に重要になってくると考えています。また、同ネットワークに加盟する各団体は、資金や人材等、組織としての体力に差があります。それらをどのような協力体制のもと補完し、高めあっていくかを検討しなければなりません。

活動の幅を広げるという意味では、産学官民の連携の推進や伝承遺産団体の加盟推進等も目指していこうと考えています。